

2025年3月27日
株式会社日本政策金融公庫

スマート農業は44.9%が導入済み、稲作（北海道）や畑作では半数超え

～ 導入に際しての課題は「初期投資費用が高い」が約8割 ～

＜農業景況調査（令和7年1月調査）特別調査＞

日本政策金融公庫農林水産事業は、融資先の担い手農業者を対象に「農業景況調査（令和7年1月調査）」を実施し、特別調査として「スマート農業※」をテーマに、「導入状況」や「課題」などについて調査しました。

※本調査における「スマート農業」は以下①～②のように定義して調査を実施。

- ①ハード：主に施設や機械・設備等を導入するもの（自動運転トラクター、水管理・環境制御システム、搾乳ロボット、リモコン草刈機など）
- ②ソフト：経営・生産管理システムやデータ利用等（圃場データ・家畜の生体等管理システム、作業記録・情報共有アプリ、病害虫・天候等の影響予測システムなど）

調査結果のポイントは以下のとおりです。

＜スマート農業の導入状況＞

- スマート農業の導入状況は「導入済み」が44.9%となりました。また、耕種では、畑作（68.7%）及び稲作（北海道：55.4%、都府県：49.2%）、畜産では、酪農（北海道：43.8%、都府県：43.2%）で特に高くなりました。

＜スマート農業に期待すること＞

- スマート農業に期待することは、「農作業の省力化」（83.1%）が最も高く、次いで「品質・収量の向上」（43.6%）、「農薬・肥料等資材の使用削減」（40.7%）が高くなりました。

＜スマート農業導入に際しての課題＞

- スマート農業導入に際しての課題は、「初期投資費用が高い」（79.0%）が最も高く、次いで「ランニングコストが高い」（34.7%）、「データの活用が難しい」（17.7%）が高くなりました。
- 稲作（都府県）、露地野菜、施設野菜、茶、果樹、施設花きでは「圃場や施設が技術導入に適さない」が他業種と比べて高くなり、茶、きのこ、養豚、採卵鶏では、「人材の教育が難しい」が他業種と比べて高くなりました。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

農業景況調査（令和7年1月）

～特別調査：スマート農業について～

○調査概要

- 調査時期: 令和7年1月
- 調査方法: 往復はがきによる郵送アンケート及びインターネット併用調査
- 調査対象: スーパーL資金又は農業改良資金等のご融資先のうち21,012先
- 有効回答数: 6,889先(回収率32.8%)

(内訳)

稲作(北海道): 681、稲作(都府県): 1,709、畑作: 639、露地野菜: 732

施設野菜: 594、茶: 101、果樹: 396、施設花き: 181、きのこ: 63、

酪農(北海道): 302、酪農(都府県): 253、肉用牛: 467、養豚: 212、

採卵鶏: 120、ブロイラー: 73、その他: 366

【本調査におけるスマート農業の定義】

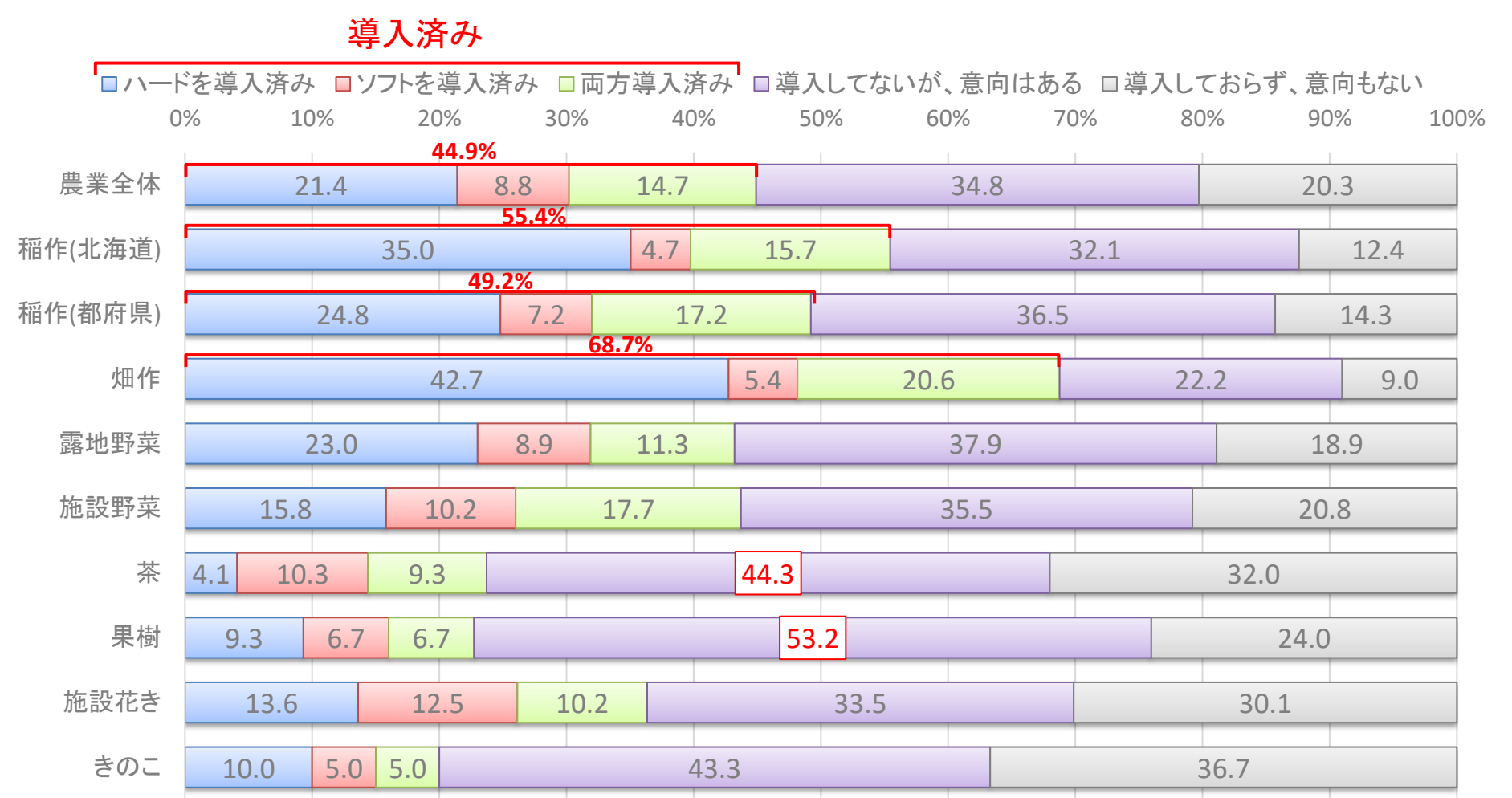
- ①ハード: 主に施設や機械・設備等を導入するもの(自動運転トラクター、水管理・環境制御システム、搾乳ロボット、リモコン草刈機など)
- ②ソフト: 経営・生産管理システムやデータ利用等するもの(圃場データ・家畜の生体等管理システム、作業記録・情報共有アプリ、病虫害・天候等の影響予測システムなど)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部(担当: 高田、垣尾) TEL: 03-3270-5585
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

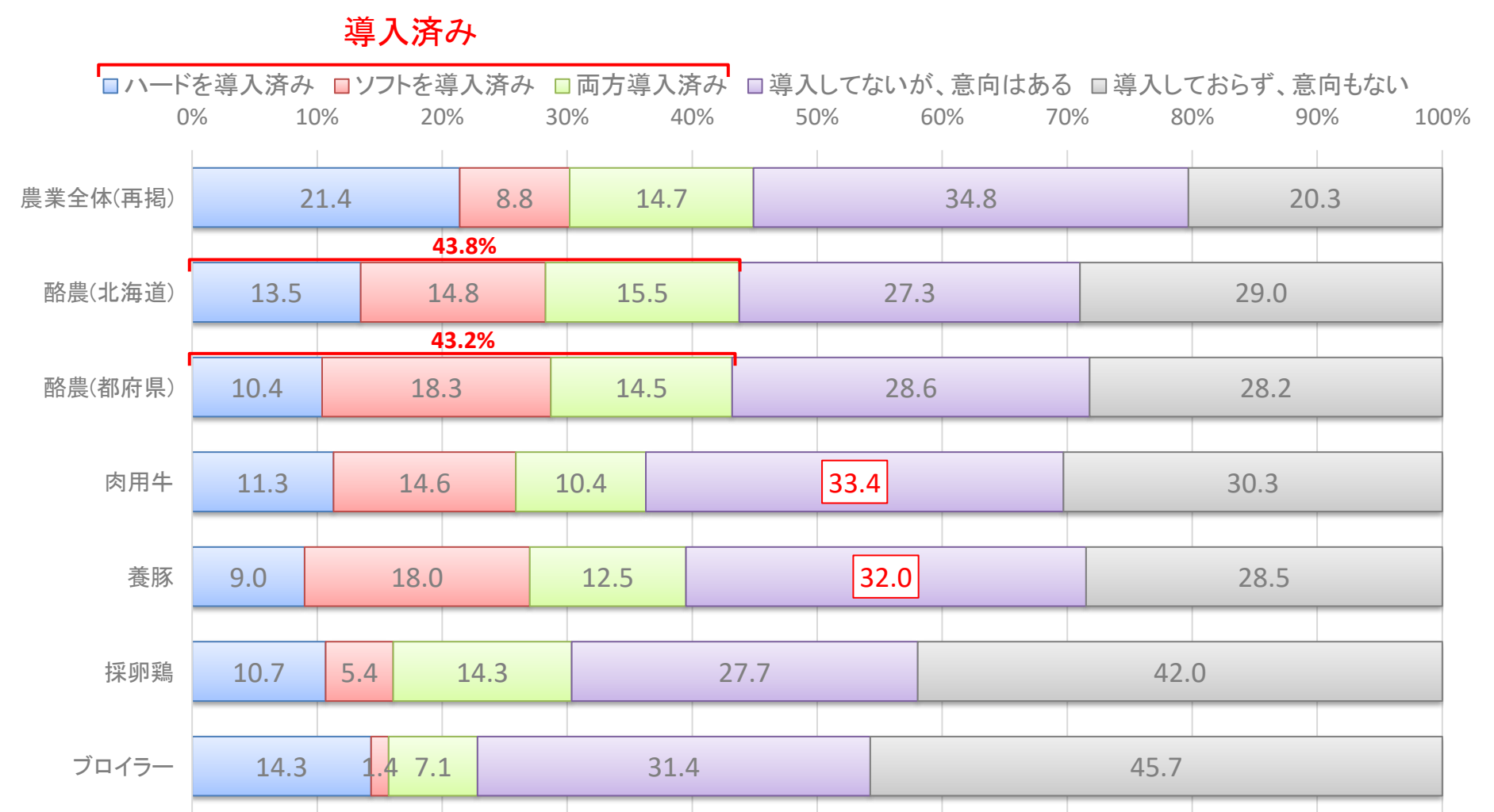
スマート農業について(導入状況、農業全体及び耕種)

- ・農業全体では「導入済み」は44.9%となった。
- ・業種別(耕種)では、「導入済み」は畑作(68.7%)及び稲作(北海道:55.4%、都府県:49.2%)で高くなった。
また、「導入してないが、意向はある」は「果樹」(53.2%)、「茶」(44.3%)で高くなった。



スマート農業について(導入状況、農業全体及び畜産)

- ・業種別(畜産)では、「導入済み」は酪農(北海道:43.8%、都府県:43.2%)で高くなった。
- ・「導入していないが、意向はある」は、肉用牛(33.4%)、養豚(32.0%)で高くなった。



スマート農業について(期待すること)

- ・農業全体では、「農作業の省力化」(83.1%)が最も高く、次いで「品質・収量の向上」(43.6%)、「農薬・肥料等資材の使用削減」(40.7%)が高くなった。
- ・業種別では、全ての業種で「農作業の省力化」が最も高くなった。
- ・稲作、畑作、露地野菜では「農薬・肥料等資材の使用削減」が、畜産では「生産管理・経営マネジメントの効率化」が「農作業の省力化」に次いで高くなった。

【複数選択】

業種区分	農作業の省力化	品質・収量の向上	農薬・肥料等資材の使用削減	生産管理・経営マネジメントの効率化	技術や知識の共有・継承	定量化(データ化)による課題把握	天候や災害、病虫害等のリスク軽減	選別・集出荷など物流作業の効率化	コミュニケーションの充実	その他
農業全体	83.1	43.6	40.7	34.4	24.3	21.3	20.3	10.5	5.4	4.0
稲作(北海道)	91.2	42.2	51.1	18.7	20.2	12.5	19.2	7.2	3.5	3.5
稲作(都府県)	88.6	43.9	48.2	31.2	23.4	19.5	20.0	9.1	4.8	3.9
畑作	88.9	40.8	60.0	23.3	24.6	14.1	21.7	8.0	3.2	3.9
露地野菜	88.4	46.3	47.5	31.6	22.8	19.7	25.3	15.5	6.0	3.3
施設野菜	72.6	58.3	37.7	37.3	30.1	29.9	29.5	15.8	6.2	3.3
茶	80.2	44.2	27.9	41.9	31.4	24.4	23.3	4.7	1.2	3.5
果樹	78.7	47.6	34.6	38.8	24.4	21.3	34.3	23.5	6.4	4.2
施設花き	67.3	52.8	33.3	38.4	35.8	32.1	32.1	18.2	10.7	6.3
きのこ	75.0	51.9	11.5	44.2	30.8	28.8	11.5	25.0	5.8	0.0
酪農(北海道)	85.1	30.9	36.4	42.8	23.8	23.8	10.4	3.0	5.2	3.7
酪農(都府県)	81.3	38.4	19.2	45.8	21.7	28.6	3.9	1.0	7.9	2.5
肉用牛	70.5	39.1	19.7	45.2	21.7	22.0	9.3	4.8	6.3	6.1
養豚	70.2	27.5	10.7	65.7	20.2	41.6	6.7	6.2	7.9	4.5
採卵鶏	73.6	33.0	7.7	58.2	20.9	28.6	5.5	22.0	5.5	4.4
ブロイラー	64.5	35.5	9.7	37.1	32.3	22.6	24.2	9.7	8.1	8.1

※各業種、上位2位までを赤字表記

スマート農業について(導入に際しての課題)

- ・農業全体では、「初期投資費用が高い」(79.0%)が最も高く、次いで「ランニングコストが高い」(34.7%)、「データの活用が難しい」(17.7%)が高くなった。
- ・業種別では、全ての業種で「初期投資費用が高い」が最も高くなった。
- ・稲作(都府県)、露地野菜、施設野菜、茶、果樹、施設花きでは、「圃場や施設が技術導入に適さない」が他業種と比べて高くなった。
- ・茶、きのこ、養豚、採卵鶏では、「人材の教育が難しい」が他業種と比べて高くなった。

【複数選択】

業種区分	初期投資費用が高い	ランニングコストが高い	データの活用が難しい	圃場や施設が技術導入に適さない	経営の改善効果を実感しにくい	人材の教育が難しい	設備等の性能が不十分	品目や栽培・飼養方法が技術導入に適さない	導入時に相談する相手がいない	その他	特に課題なし
農業全体	79.0	34.7	17.7	17.5	14.2	13.6	13.5	9.3	8.8	3.8	4.0
稲作(北海道)	88.4	40.4	16.5	12.0	16.8	5.9	14.1	5.4	5.9	3.2	1.8
稲作(都府県)	79.1	35.0	20.9	23.3	15.5	16.6	13.8	5.0	8.3	4.6	3.1
畑作	87.8	32.9	23.7	9.7	20.1	9.6	10.4	5.3	6.2	3.6	1.9
露地野菜	81.6	34.7	17.1	19.1	14.6	11.2	12.5	13.1	11.9	2.6	3.2
施設野菜	78.9	31.9	21.8	19.2	12.5	12.9	14.3	14.2	8.7	3.3	4.4
茶	70.6	27.1	10.6	25.9	10.6	23.5	12.9	7.1	10.6	2.4	9.4
果樹	71.1	27.0	13.1	28.1	12.5	13.4	15.0	23.7	13.6	4.6	5.4
施設花き	75.5	32.7	20.8	20.8	10.1	8.2	17.6	20.1	11.3	6.3	5.0
きのこ	74.5	27.5	9.8	15.7	7.8	25.5	13.7	7.8	19.6	0.0	7.8
酪農(北海道)	85.5	44.2	13.0	12.3	11.9	12.3	11.9	6.3	5.9	3.0	4.8
酪農(都府県)	76.9	45.3	9.9	12.7	11.3	15.1	12.3	6.1	5.7	3.3	7.1
肉用牛	71.5	36.9	9.6	10.6	10.1	13.1	9.6	8.8	10.4	3.8	7.8
養豚	62.4	31.5	15.7	7.9	11.8	25.8	23.0	10.7	7.3	4.5	3.4
採卵鶏	61.3	22.6	8.6	11.8	8.6	20.4	9.7	8.6	7.5	5.4	9.7
ブロイラー	74.6	28.6	12.7	9.5	11.1	14.3	19.0	12.7	11.1	1.6	1.6

※各業種、上位3位までを赤字表記